

第61回全日本教職員バドミントン選手権大会 レフェリー報告

レフェリー 多田 達矢

第61回全日本教職員バドミントン選手権大会が無事に終えることができましたことを、開催県である愛媛県教職員バドミントン連盟及び愛媛県バドミントン協会の皆様方をはじめ、大会運営にご尽力いただきました皆様方に心よりお礼申し上げます。

今大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となりましたが、感染防止対策の徹底が求められる大会運営とのことで、役員一人一人が細心の注意を払いながら対応していただくことができたと思っております。

今回、レフェリーとして愛媛県で開催される全日本教職員バドミントン大会に派遣されることになり、喜びとともに緊張しておりました。愛媛県には2017年に開催されたえひめ国体に審判員として参加させていただいたこともあり、ご縁を感じました。今回の立場はレフェリーということで、コロナ禍で派遣予定であった大会が軒並み中止となり、経験が浅い中でどれだけできるのか、自分の中で葛藤していました。

令和4年8月13日から16日までの4日間、愛媛県武道館と松山市コミュニティセンター体育館の2会場で開催されました。日頃、教職員として児童や生徒を指導し、育成をなさっている皆様方が、ご自身のプレーに集中し、最後までシャトルを追う姿に感動を覚えました。また、ゲーム終了後の喜びや悔しさなどの気持ちが溢れていて、大会を開催することができてよかったという喜びを感じておりました。

役員として大会に従事していただいた競技・審判・総務の皆様方は、大会を円滑に進めるようにそれぞれのポジションでご尽力いただきました。ご無理なことを申し上げることがあったと思いますが、ご対応くださり感謝しております。

また、地元・派遣審判員の皆様方は、人員に限りのある中で厳正にジャッジし、試合をコントロールしていただきました。

来年の大会に向けて、レフェリーとしてプレーヤーの皆様方にお願ひがあります。大会運営規程第24条及び公認審判員規程第5条第12項(8)において、プレーヤーまたはコーチの服装に関して規定されています。お声かけさせていただくことが多かったですが、今一度確認していただきたいと思ひます。

今大会では、日本教職員バドミントン連盟の高橋会長、上田副理事長、新井デピュティレフェリー、吉川デピュティレフェリーからご指導ご鞭撻を賜り、貴重な経験をすることができました。これも「教職員バドミントン選手権大会」ならではのことで、この経験を糧に、プレーヤーが思い出に残るような大会を目指して邁進していきたく思ひます。

最後に、日本教職員バドミントン連盟の益々のご発展と、皆様方のご健康とご繁栄を祈念いたしまして、レフェリー報告といたします。ありがとうございました。